一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸通信

Vol.1

発行：平成28年7月15日

大学コンソーシアムひょうご神戸 一般社団法人となる

更なる飛躍を目指して

「大学コンソーシアムひょうご神戸」は平成28年4月1日より「一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸」として新しい歩みを始めました。法人化の狙いは「県下すべての大学によるすべての大学のための組織である」との設立理念に基づき①社会的信用力の向上と地域連携事業の推進により、会員校の利益増大に寄与する ②財政基盤の強化 ③事務局体制の強化を図るためです。同時に日本学生支援機構（JASSO）との協定に基づき事務所も機構が運営する「兵庫国際交流会館」に移転しました。（神戸市中央区脇浜町一丁目二の八）

平成28年3月29日には井戸知事や大学関係者ら約60人が出席し移転・開所式を挙行しました。開所式では岡田理事長（当時）が「42校と地域が連携することで、地方創生の中核となっていきたい」と決意を述べました。

武田理事長思いを語る

平成28年は設立10年目を迎えた大学コンソーシアムひょうご神戸にとって大きな節目の年となりました。加盟校42校の満場一致の賛同を得て一般社団法人となり、併せて独立行政法人日本学生支援機構と協働して学生支援を行う協定を結びました。それに伴い事務所も兵庫国際交流会館に移転し、より緊密な交流が図られる体制づくりが出来ました。

4月1日に一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の初代理事長に就任しましたが、これからは社団法人化した特徴を活かした運営を積極的に行っていきます。

まず最初にコンソーシアムを支えて頂く「輪」を大きくしたいと考えています。正会員41校が中心となり、その周りを多数の賛助会員、各種団体、更には他地域のコンソーシアムの皆さまが取り囲む「輪」作りをしたいと考えています。

次に「輪」を繋ぐネットワークを作っていきます。

このネットワークを通じて情報交換を行い、加えて効率的な行動を実行することで地域・社会に貢献していく所存です。

委員会と平成28年度事業

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸は事業委員会を柱に行政からの受託事業、外部団体との協定事業で活動を行なっています。

■国際交流委員会
・留学生支援プログラム（ひょうご留学生インターンシップ）
・模擬国連世界大会演習
・学生派遣プログラム
・県内企業・海外事業展開に係る留学生活用事業

■学生交流委員会
・学生プロジェクト事業
・神戸市社協共催ボランティア事業
・日本財団学生ボランティアセンター協働学生ボランティア事業

■研修交流委員会
・加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開
・コンソーシアム加盟校教職員を対象とした大学教育に関する説明会等の開催

■教育連携委員会
・単位互換事業（単位互換プログラム）
・高大連携事業（ひょうご高校大学コンソーシアム）
・就職支援事業（大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職支援）

※企画運営委員会
・担当者連絡会の実施
・情報交換会
・パイロット事業

学校・学部紹介 明石工業高等専門学校 機械工学科

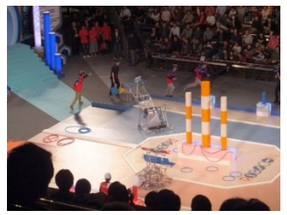
学科の特長

「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2015」でロボット名：わっさんがベスト4となりました。1996年の準優勝以来の快挙で、18年間にわたり全国大会で勝てなかった屈辱をはらしました。2015年の競技名は「輪花繚乱」（わっかりょうらん）で2チームに分かれての対戦形式です。3人1組のチームで1台のロボットを使い、太さや高さの異なる様々なポールに輪を投げ入れ、3分間の競技時間で相手より早く9本全てのポールに輪を投げ入れたチーム、或いはポールに輪を投げ入れて得た得点の多いチームが勝者となります。ちなみに2015年の優勝は奈良高専でした。

ロボット作りには機械工学、電気工学、情報工学等多様な技術、技能が求められますが、明石高専でロボット作りの中心となったのが機械工学科です。

2016年度の課題名は「ロボット・ニューフロンティア」でロボットによる「新大陸開拓」です。機械工学科ではこの課題の克服を目指してユニークなロボット作りを始めています。

【明石高専提供】


【明石高専提供】

兵庫県教育史エピソード 【第1回】

「兵庫県教育史エピソード」の掲載について

昭和三八年に兵庫県教育委員会により発行された「兵庫県教育史」から兵庫県の高等教育に関する歴史的なエピソードを抜粋し、一回一話題で掲載します。このエピソードを通じ現在まで連綿と続く兵庫県の教育界の奥深さを感じて頂ければ幸いと思っています。

＝兵庫県教育の進歩性＝

神戸が開港場であったことは、兵庫県教育に決定的な影響を及ぼした。明治一一年、はやくも、東京商法講習所についで、神戸商業講習所が設立されたこと、明治三六年、大阪の猛烈な誘致運動をしりぞけて、官立高等商業学校が神戸に設立されたことは、神戸が日本の二大開港場の一つであったことに原因する。

また、外人経営のミッション・スクールが、早くから神戸の地に設立されたことも港からの関連であった。神戸女学院（明治八年設立）と関西学院（明治二二年設立）があげられるが、これらの学校が兵庫県教育に寄与した功績は大きかった。幼稚園教育においても、エ・エル・ハウの率いる頌栄幼稚園（明治二二年設立）は、つねに県下幼稚園教育の推進力となっていた。

以上のように神戸港を窓とする西洋文化とのいちはやい接触は、兵庫県の教育をいちじるしく進歩的なものとした。外来スポーツの採用ごときも非常にはやく、しかもそれは神戸のみにとどまらず、遠く但馬の地にも及んでいる。豊岡小学校が明治三一年にはやくも野球部を組織し、三九年には出石の弘道小学校と対抗試合をおこなっているがごとき、その一例であろう。大正期から昭和期にかけて、神戸一中・関西学院・甲陽中学・第一神港商業などの野球部が、全国優勝の栄を獲得したことも故なしとしない。

またその他の面においても、丹波の県立柏原中学校長平沢金之助が、明治三八年、全国にさきがけて音楽専任教師を採用し、洲本の淡路高等女学校校長川路寛堂が、明治三八年、世人の猛反対をおしきって、女学生の海水浴を実施したことなど、教育者のなかにも進歩主義者は多かった。

【記事出所元】
著作名：兵庫県教育史
引用頁：7～8頁
発行年：昭和38年11月1日
発行所：兵庫県教育委員会

☆☆ 編集後記 ☆☆

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸として広報誌を発行する運びとなりました。この広報誌を通じて大学コンソーシアムひょうご神戸の事業を紹介すると共に、皆さまと情報の共有を図りたいと考えています。発行は3ヵ月に一回、年に四回発刊する予定です。

この広報誌について皆様方からご意見、ご提案をお待ちしています。宜しくお願い致します。

発行責任者：阿久根昌夫
編集者　：表原光男

＝＝連絡先＝＝

一般社団法人　大学コンソーシアムひょうご神戸
〒651-0072
兵庫県神戸市中央区脇浜町1丁目2-8
兵庫国際交流会館1F

TEL:078-271-0233　FAX:078-271-0244
E-mail:info@consortium-hyogo.jp
ホームページ:http://www.consortium-hyogo.jp
Facebook:https://facebook.com/conso.hyogo.kobe/

平成28年度「単位互換事業」を開始

5大学13科目が開放

平成28年3月より「単位互換参加大学」に所属する学生を対象に、5大学で開講される13科目について、科目履修生の募集が行われました。

単位互換制度とは、協定大学の間で単位互換ができる授業が実施され、学生は自分の専門分野以外の授業や、気になる他大学の先生の講義を受けて、単位の認定が受けることができる制度です。参加大学の2年生以上に在学する学生（ただし短期大学生に関しては1年生の申込みも可）が対象学生となります。基本的には受講料は無料です。

科目は平常の授業期間ではなく、夏休みや冬休みに開講します。集中科目（国内合宿型、集中型実技、実習等特別プログラムなど）が中心となっており、平成27年度は5大学・短期大学で13科目の開放があり、履修者は7大学14名となりました。

単位互換事業では①県下大学間での相互連携の促進　②学習動機の強化や教育効果の向上　③国際交流、地域連携、社会連携等への動機付けの強化等が期待されています。

学生ボランティアのプログラムに多数の学生が参加

☆☆☆　活かされる阪神・淡路大震災の復興経験　☆☆☆

熊本地震では多くの被災者が厳しい生活を余儀なくされています。また、東日本大震災の被災者の方々も援助を必要とされる方が多数おられます。

これらの要請に応えるため大学コンソーシアムひょうご神戸では今年も学生ボランティアを活動の柱のひとつとして取組んでいます。

■東日本大震災、阪神・淡路大震災復興支援　平成28年度学生ボランティア

今年も「伝える・繋げる・続ける」を主要コンセプトに34名の学生が8月に宮城県名取市のボランティア活動に参加することになりました。自分達でプログラムを企画・準備し、地域の方々を対象にボランティア活動を行ないます。その後、10月には兵庫県内でボランティア活動を行なう予定です。

■学生ボランティア養成プログラム2016

防災や復興支援に関心がある学生たちが他大学の学生と交流しながら、自身のボランティア活動をステップアップしています。日本財団学生ボランティアセンターとの協働事業として昨年からスタート、現在9大学18人の学生が活動中。

6月は関西学院千刈キャンプ（三田市）で足湯ボランティア実習と自助スキルを磨き、野営を体験。自助と共助の大切さを実感しました。7月以降丹波豪雨災害被災地（市島）を訪ね、地元の皆様と活動、復興に向けた学生企画にも取組します。興味がある人はご参加ください！

■神戸から熊本へ　子どもたちの笑顔をふやそう！学生ボランティア

6月3日（金）～6日（月）学生24名が参加し、児童施設等で子どもたちとともにレクレーションゲーム、伝統遊び等を行い励ましました。同時に災害ボランティアセンターの運営するボランティアや被災者の個人宅で屋内片付けなどの活動を行ないました。現地の状況はまだまだ援助を必要としており、ボランティア活動を引続き行なっていくことが求められています。

7月・8月・9月イベント紹介

月/日	イベント	場所
7月　1日（金）	大学キャリアセンターと兵庫県下の企業との交流会	兵庫国際交流会館
7月　2日（土）	留学生インターンシップ　オリエンテーション、事前研修	兵庫国際交流会館
7月　9日（土）	模擬国連世界大会　オリエンテーション	神戸市外国語大学
7月　9日（土） ～10日（日）	学生ボランティア養成プログラム2016 Part2　災害復興現場から学ぶ1日	丹波豪雨災害被災地（丹波市）
7月16日（土）	留学生を対象とした「合同企業面談会」	兵庫国際交流会館
8月19日（金） 9月16日（金）	大学キャリアセンター、学生を対象とした兵庫県下の企業訪問① 大学キャリアセンター、学生を対象とした兵庫県下の企業訪問②	加古川市、神戸市内 神戸市内
9月10日（土） ～11日（日）	全国大学コンソーシアム研究交流ファーラム 「大学連携によるグローバル人材育成」	エリザベト音楽大学・ 広島国際大学
9月14日（水）	県内先端産業科学技術施設及び企業見学会	神戸市内
9月24日（土）	留学生インターンシップ　事後研修	兵庫国際交流会館

4月・5月・6月のNEWS

月/日	イベント名	場　所
4月　9日（土）	模擬国連世界大会　申込み事前説明会	神戸市外国語大学
5月14日（土）	東日本大震災、阪神・淡路大震災　復興支援 平成28年度学生ボランティア　オリエンテーション　研修会	神戸市民福祉交流センター
5月19日（木）	・大学コンソーシアムひょうご神戸　通常総会 ・一般社団法人　大学コンソーシアムひょうご神戸　定時総会	神戸親和女子大学 サテライトキャンパス
6月　3日（金） ～6日（月）	熊本学生ボランティア活動	熊本県
6月　4日（土） ～5日（日）	学生ボランティア養成プログラム2016 Part1　自ら動く技術と知恵のプログラム	関西学院 千刈キャンパス（三田市）
6月11日（土）	留学生向けインターンシップ　推薦学生ガイダンス	神戸サンセンタープラザ西館

平成28年度インターンシップ（対象：留学生）　始まる

56名の留学生が27社の企業・団体で実習を予定

平成28年度の留学生を対象とした8回目のインターンシップが始りました。各大学より推薦された56名の留学生が27社の企業・団体で8月から9月にかけて「テーマ型」「就労体験型」「テーマ・就労体験併用型」に分けて実習を行います。

実習に先駆け6月11日（土）に推薦学生を集めてインターンシップの意義、「テーマ型」と「就労型」の違い等について学びました。同時に先輩留学生よりインターンシップを通じて自分がいかに成長できたかなどの経験談を聞くことができました。

7月2日（土）にオリエンテーション・事前研修を開催します。各企業・団体で実習が行われた後、9月24日（土）に事後研修を行います。最後に、受入れて頂いた企業・団体及び大学関係者を招き10月15日（土）に報告会を開催する予定です。

模擬国連世界大会の参加者が決まる

神戸市外国語大学19名、加盟校から5名の参加となる

平成28年11月23日（水）から26日（土）の4日間神戸市外国語大学で開催される模擬国連世界大会への参加募集を加盟校に行ないました。神戸市外国語大学で19名、加盟校3校で5名計24名の学生が参加することになりました。

模擬国連とは、実際の国際連合の会議をシミュレーションする教育活動で、参加者は割り当てられた国連加盟国の外交団の役割を担い、その国の利害を代弁して関係国外交団との交渉・議論を行い、問題解決への合意形成を図ります。こうしたプロセスを通じて、次世代を担う若い世代の参加者に、実際の国際問題や国連システムについての理解を促し、国際的な連携を深めることを目指すものです。

模擬国連世界大会の日本での開催は、今回が初めてです。また、交渉・議論は全て英語で行なわれます。

大会当日を含めて授業の一貫として準備、演習等の研修が神戸市外国語大学で行なわれます（11月24日～26日の三日間は神戸国際会議場となります）。

神戸常盤大学でFD・SDセミナーを公開

高大接続改革特別講演会を公開

平成28年6月11日（土）神戸常盤大学の大講義室で文部科学省高等教育局　主任大学改革官　濱口太久未氏により「高大接続改革が目指す教育について」の演題で講演会が開催されました。この講演会は今年度最初の加盟校による教育関係者を対象とした公開FD・SDセミナーとなりました。

神戸常盤大学関係者以外にコンソーシアム加盟校からも多数の参加があり、この高大接続改革の重要な視点として「学力の3要素」を高等学校・大学を通じて確かに育成し、それを多面的・総合的に評価すること等の講演を熱心に受講しました。